ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E132K003	保健体育科授業研究（中等） I (Studies in Teaching of Health and Physical Education I (Junior High School))		対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択	2	3	教育学部 ≪令和２年度以降入学生用≫		木1	日本語		単独

担当教員	氏名　内倉康二 E-mail　uchikura92694029@oita-u.ac.jp　内線
授業の概要	体育授業における運動観察の方法について学び、それらの知識を用いて運動の実施及び観察を行う。これらの実技・実践を踏まえて、運動に関する実施者・観察者間のズレを共有する。また、体育理論の授業づくりの方法について学び、それらを基にして授業を立案し、発表する。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	体育授業における運動観察の方法について説明できる。		○						
目標2	運動の観察をしながら、実施者・観察者間のズレ等を挙げることができる。		○	○					
目標3	体育理論授業づくりができる。		○		○				
目標4									
目標5									
目標6									
目標7									
目標8									
目標9									
目標10									
		各DPへの関連度（計10）	6	2	2				

授業の内容

1	本授業の学問的立場
2	世界と身体の関係性
3	身体の仕組みと体育授業
4	運動の学習と意識
5	運動観察と運動観察力の形成
6	運動観察にみえる指導者学習者間の共有とズレ
7	実践
8	実技・実践を踏まえた他者との対話や意見交換
9	体育授業構想の実践のまとめ
10	体育理論教材研究方法①（指導内容の確認）
11	体育理論教材研究方法②（教材研究の方法）
12	体育理論の授業研究（テーマ設定）
13	体育理論の授業研究（文献調査）
14	体育理論の授業研究（指導案の構想・立案）
15	体育理論の授業研究（発表）

アクティブラーニング				
A:知識の定着・確認	○	運動観察に関する討議 体育理論授業づくりと発表	その他の工夫	
B:意見の表現・交換	○			
C:応用志向				
D:知識の活用・創造				

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	実技・実践・発表に向けた準備(20h) 実践で取り扱う運動についての理解(10h)
	事後学修	配布資料を用いた復習(15h)
	想定時間合計	45

教科書	教科書は指定しない
参考書	授業中に随時知らせる

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	小レポート	50%	○		○							
	討議	20%		○								
	発表	30%			○							

注意事項	
備考	
リンク	
	URL